

# 2022年3月期第2四半期決算 ～今後の経営展望について～

2021年11月12日

株式会社ヤクルト本社

代表取締役社長

成田 裕

# 2022年3月期 第2四半期連結業績(累計)

**Yakult**  
 (図 1)  
 (単位:億円)

	実績 (うち、為替影響額)	当初業績予想 (5月14日発表)	当初業績 予想比	前年実績	前年実績比
売上高	2,029 (+50)	1,985	102.3%	1,904	106.6%
営業利益	278 (+12)	225	123.7%	241	115.1%
経常利益	357 (+15)	280	127.6%	334	106.7%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	255 (+11)	200	127.9%	217	117.8%

為替影響額は対前年実績

※2022年3月期から「収益認識に関する会計基準」が適用されたことにより、当第2四半期売上高が36億円減少しています。

# 2022年3月期 通期業績予想(連結)



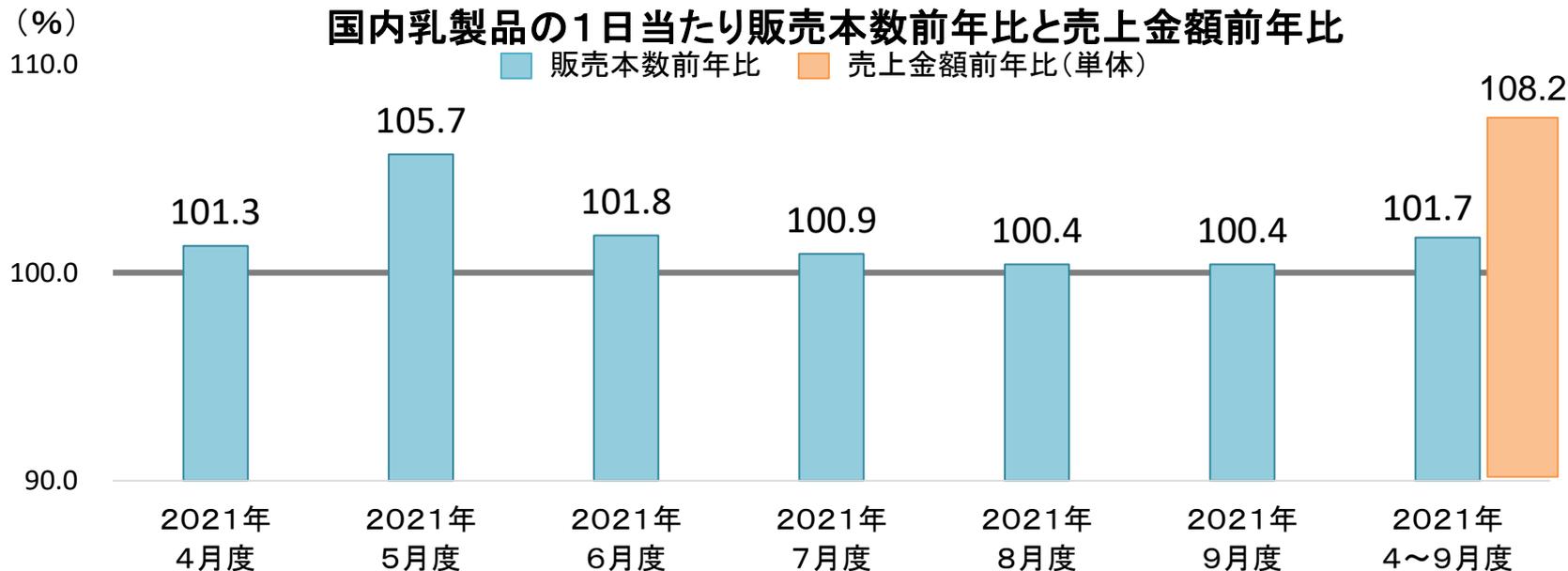
(図 2)

(単位:億円)

	修正業績予想 (うち、為替影響額)	当初業績予想 (5月14日発表)	当初業績 予想比	前年実績	前年実績比
売上高	4,125 (+122)	4,085	101.0%	3,857	106.9%
営業利益	515 (+29)	500	103.0%	436	117.9%
経常利益	635 (+33)	600	105.8%	576	110.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	430 (+24)	410	104.9%	392	109.5%
1株当たりの 当期純利益	(円 銭) 268.05	(円 銭) 255.53		(円 銭) 244.85	

為替影響額は対当初業績予想

※2022年3月期から「収益認識に関する会計基準」が適用されたことにより、修正業績予想売上高が73億円減少しています。



※売上金額は「収益認識に関する会計基準」が適用されています。



## Yakult(ヤクルト)1000



【希望小売価格(税別)】  
130円/本  
910円/7本パック

### 【Yakult(ヤクルト)1000の届出表示】

本品には乳酸菌 シロタ株(L. カゼイ YIT 9029)が含まれるので、一時的な精神的ストレスがかかる状況でのストレスをやわらげ、また、睡眠の質(眠りの深さ、すっきりとした目覚め)を高める機能があります。さらに、乳酸菌 シロタ株(L. カゼイ YIT 9029)には、腸内環境を改善する機能があることが報告されています。

- 継続率は、宅配の基幹商品であるヤクルト400類と同等の水準

- 「ヤクルト届けてネット」の拡大

### 販売本数目標(1日あたり本数)

1, 239千本/日  
(2021年4月~2022年3月)

### 販売本数実績(1日あたり本数)

1, 148千本/日  
(2021年4月~2021年9月)



新規でご注文いただけるチャネルとして拡大

## Y(ワイ)1000



【希望小売価格(税別)】

150円/本

900円/6本パック

### 【Y1000の届出表示】

本品には乳酸菌 シロタ株(L. カゼイ YIT 9029)が含まれます。乳酸菌 シロタ株(L. カゼイ YIT 9029)には、一時的な精神的ストレスがかかる状況でのストレスをやわらげる機能や睡眠の質(眠りの深さ、すっきりとした目覚め)を高める機能があることが報告されています。さらに、腸内環境を改善する機能があることが報告されています。

### 【販売チャネル】

スーパーマーケット、コンビニエンスストアといった店頭チャネルへ配荷

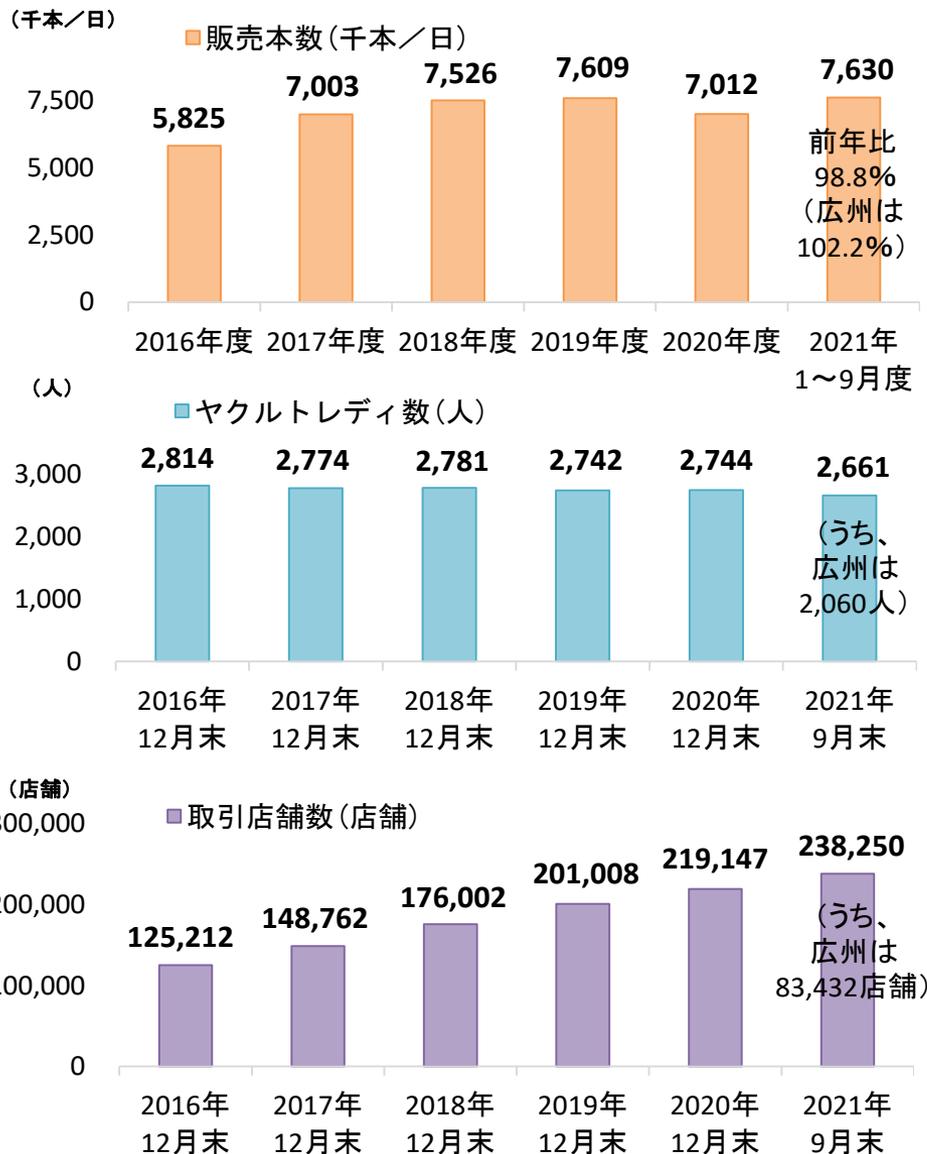
発売、地域拡大時期	販売地域	販売本数目標(1日あたり本数)
2021年10月 5日	全国展開	200千本/日 (2021年10月~2022年3月)

# 国際事業 各国販売実績(速報値)(2021年1月 - 2021年9月)

(図6)

国名	販売対象人口(千人)	2021年1~9月販売実績(本/日)	前年比(%)	人口比(%)	国名	販売対象人口(千人)	2021年1~9月販売実績(本/日)	前年比(%)	人口比(%)	
香港	8,280	442,713	94.3	5.35	ブラジル	102,990	1,406,402	95.9	1.37	
シンガポール	5,610	263,214	94.9	4.69	メキシコ	97,428	3,454,721	95.7	3.55	
インドネシア	200,000	7,243,844	109.3	3.62	アメリカ	336,870	547,552	121.7	0.16	
オーストラリア	25,000	288,195	107.1	1.15	米州計	537,288	5,408,675	97.9	1.01	
マレーシア	27,000	331,634	95.2	1.23	オランダ	17,479	183,581	110.2	1.05	
ベトナム	40,000	775,704	118.0	1.94	ベルギー	40,947	84,359	104.5	0.21	
インド	133,000	230,362	118.5	0.17	イギリス	71,774	237,602	106.7	0.33	
中国東	23,900	20,510	131.4	0.09	ドイツ	82,430	77,440	108.2	0.09	
ミャンマー	5,160	3,252	19.9	0.06	オーストリア	9,043	10,936	96.6	0.12	
中国	広州	89,700	3,032,877	102.2	3.38	イタリア	60,759	88,507	89.8	0.15
	上海	24,280	465,825	84.5	1.92	ヨーロッパ計	282,432	682,425	104.8	0.24
	北京	30,760	379,672	90.1	1.23	(連結合計)	2,046,740	23,320,843	102.4	1.14
	中国	614,330	3,751,941	99.1	0.61	台湾	23,146	708,099	103.7	3.06
中国計	759,070	7,630,315	98.8	1.01	タイ	66,190	1,984,358	95.5	3.00	
アジア・オセアニア連結計	1,227,020	17,229,743	103.8	1.40	韓国	51,780	2,721,306	97.1	5.26	
					フィリピン	91,400	3,614,996	122.9	3.96	
					(持分法合計)	232,516	9,028,759	106.2	3.88	
					合計	2,279,256	32,349,602	103.4	1.42	

## 業績推移



## 量販店での価値普及活動



新規顧客の獲得に有効であることから、販売活動の基本として継続

## EC市場への積極的な対応



ライブコマースによる商品訴求などの取り組みも開始

## 積極的な情報発信

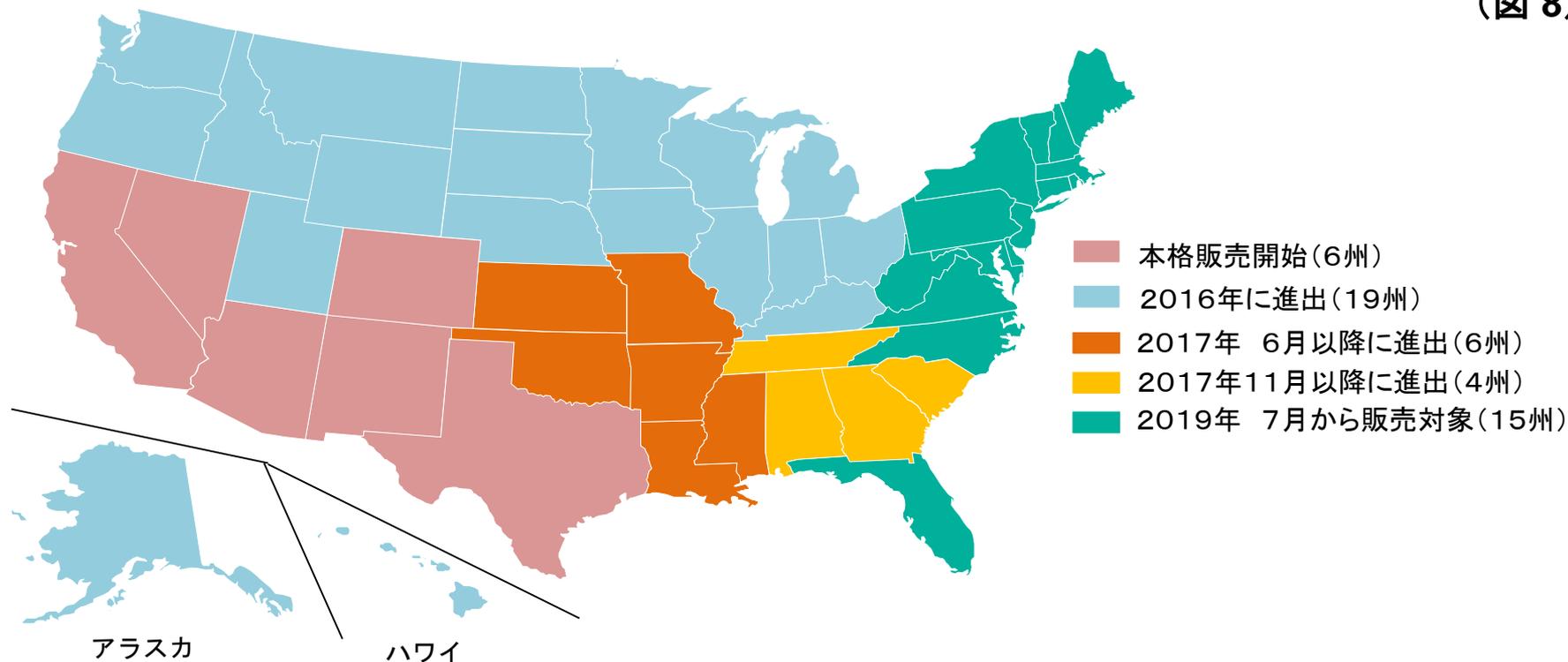


継続飲用を訴求するため、インフルエンサーからの体験・体感を発信

## 新チャネル開拓の専門チームを設置



変化に適応するため、新たなチャネル開拓を行うチームを設置

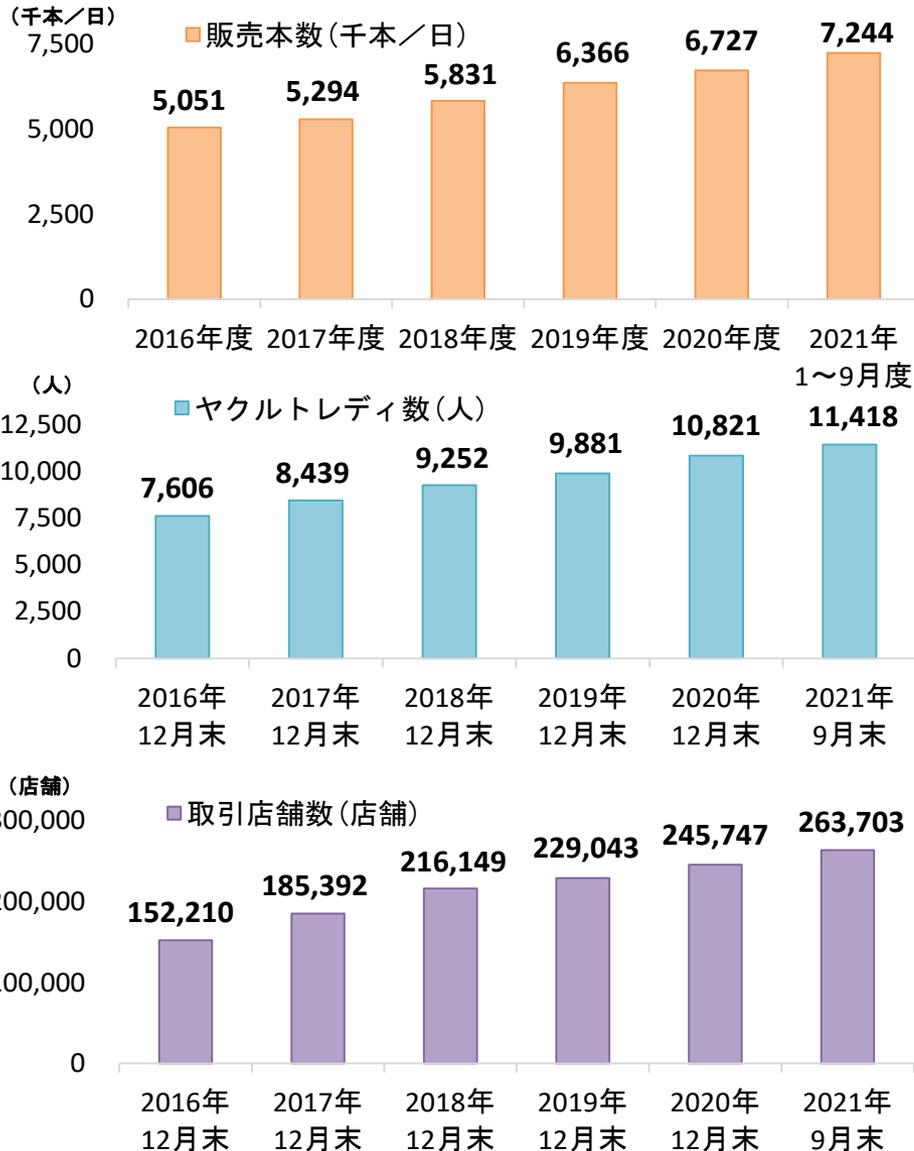


2007年に本格的に販売を開始した南西部6州の販売本数が、現在でも実績への貢献大  
2019年7月から東部15州も販売対象地域とし、米国全土へ展開中  
コロナ禍にもかかわらず、販売本数は順調に推移

- 健康志向の高い西海岸で「プロバイオティクス」「乳酸菌 シロタ株を用いたヤクルト」を知ってもらうため、継続的な店頭サンプリングを実施
- 工場見学、健康教室などの学術広報活動や広告展開によるブランド認知の向上
- 病院、老人施設、学校への寄付活動を通じたチャネル拡大

# 国際事業（インドネシア）

## 業績推移



- 宅配チャネルでは、ヤクルトレディ数が順調に増加（今後も増やせる環境にある）
- 店頭チャネルでは、取引店舗数が順調に増加
- コロナ禍でも、多くのパパママストアは営業を継続しており、売上への影響少
- 冷蔵設備がない店舗でも冷蔵ショーケースを貸与するなど、販売機会を拡大

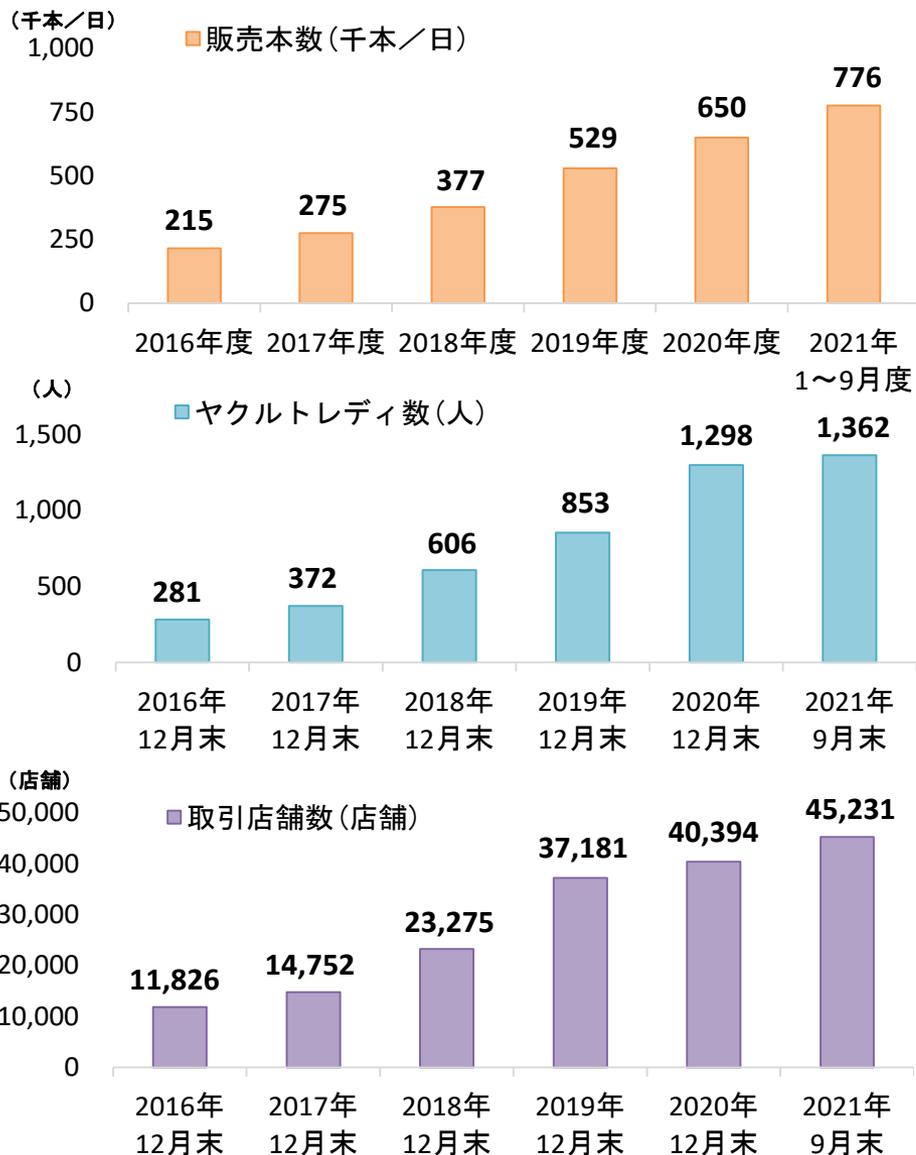


# 国際事業(ベトナム)

**Yakult**

(図 10)

## 業績推移



- 7月から新型コロナウイルス感染者数が増加し、8月中旬からホーチミン市においても外出禁止となり、ヤクルトレディの稼働停止、取引店舗も大半が臨時閉店
- コロナ禍であっても、ヤクルトレディ、取引店舗は順調に増加
- 9月度までの販売本数は2桁成長で推移



## メキシコ

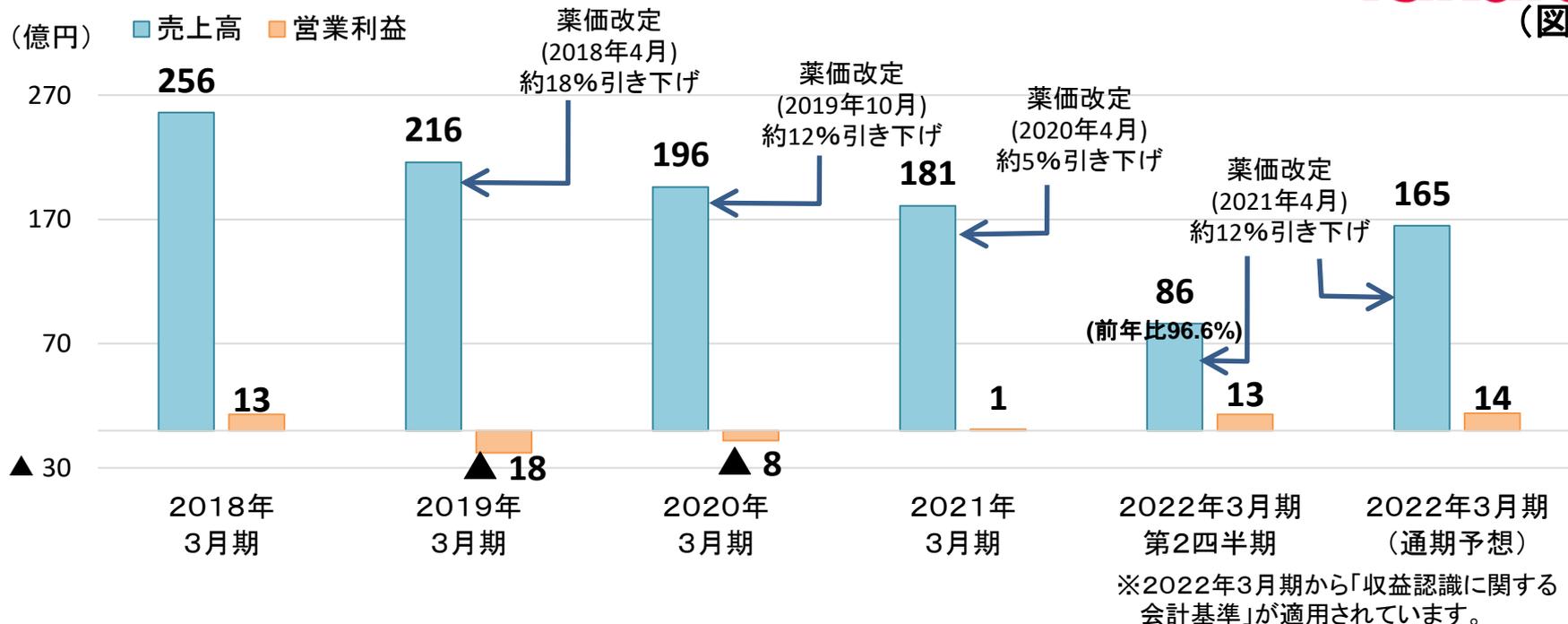
- 減少していたヤクルトレディの数が、5月度から増加（9月末時点で9,544人）
- ワクチン接種が進み、新型コロナウイルス感染者数は減少傾向にあり、徐々に規制緩和



## ブラジル

- 6月度までは販売本数が、ほぼ前年実績まで回復していたが、7月度以降は苦戦
- 景気停滞とインフレ懸念が続く可能性が高く、実績の回復には時間が必要





## 他社との販売提携

「オニバイド®」は、

- 日本セルヴィエ社とプロモーション契約を結び、2020年6月に上市した抗悪性腫瘍剤
- 現在まで好調を維持している

## 売上回復策

- 既存製品の売上確保
- 他社開発品、製品における販売提携
- 新規後発医薬品の継続的上市
- 新規抗がん剤の導入、共同開発推進
- 新薬候補品の自社創出、開発推進

## 企業理念

私たちは、生命科学の追究を基盤として、  
世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。

目指す姿

Yakult Group Global Vision 2030  
世界の人々の健康に貢献し続ける  
ヘルスケアカンパニーへの進化

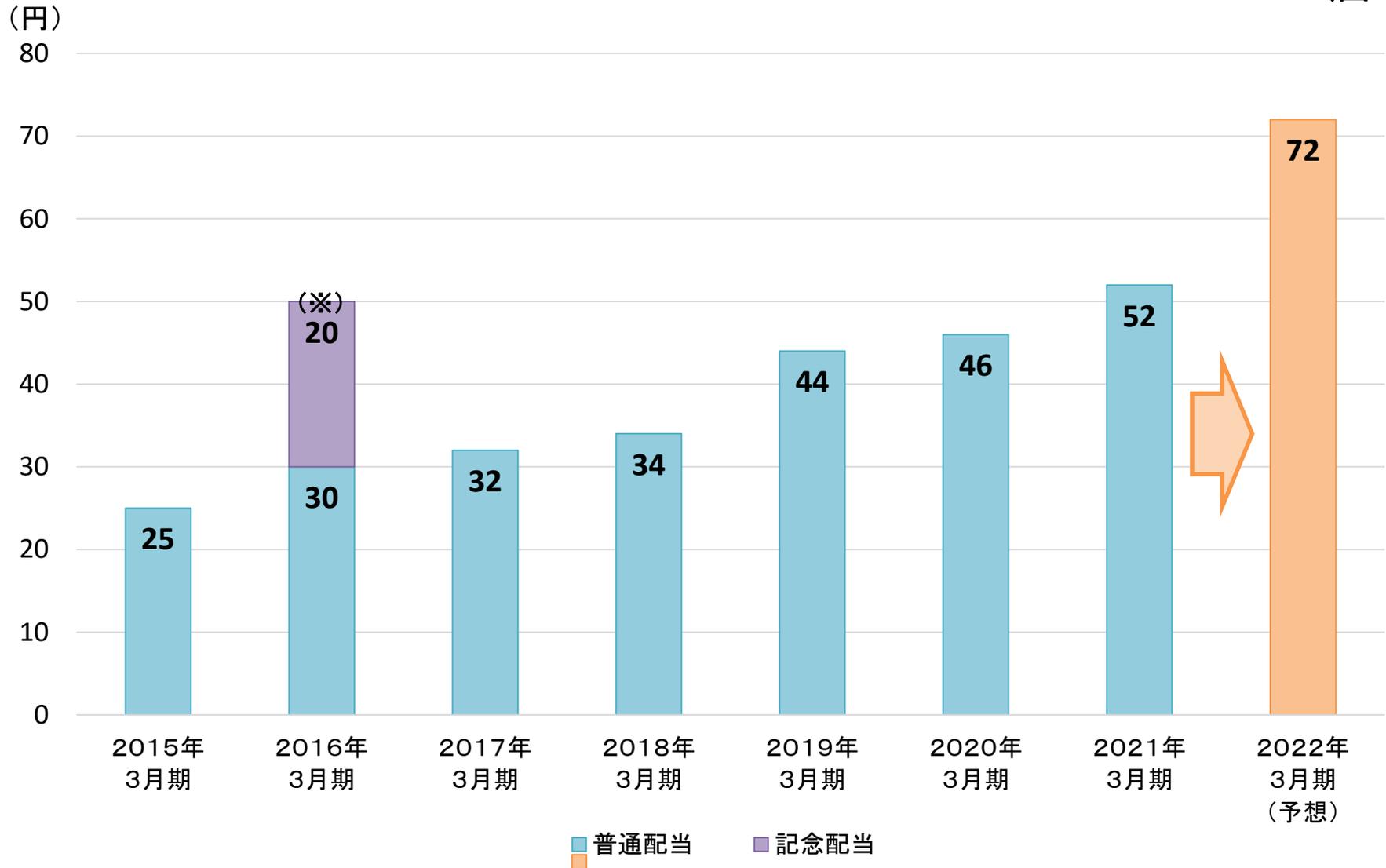
定性目標

世界の一人でも多くの人々に健康をお届けする

一人ひとりに合わせた「新しい価値」をお客さまへ提供する

人と地球の共生社会を実現する

# 配当金の推移



※2016年3月期は、創業80周年を記念して、記念配当(20円)を実施

当資料に掲載されている計画、見通しなどのうち、過去の事実以外は将来に関する見通しであり、不確定な要因を含んでいます。実際の業績は、さまざまな要因によりこれら見通しとは異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

当資料のいかなる情報も投資勧誘を目的としたものではありません。また、弊社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。万一、この資料に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いません。